



平成 20 年 9 月 22 日

各 位

会社名 株式会社 さが美  
代表者名 代表取締役社長 小野山 晴夫  
(コード番号 8201 東証第1部)  
問合せ先 経理管理部長 宿野 大介  
(Tel 045-820-6002)

平成 21 年 2 月期中間及び通期業績予想（連結・個別）の修正  
及び特別利益・特別損失の計上に関するお知らせ

本年 4 月 7 日に公表した平成 21 年 2 月期（平成 20 年 2 月 21 日～平成 21 年 2 月 20 日）の中  
間及び通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の中間業績予想（連結）数値の修正（平成 20 年 2 月 21 日～平成 20 年 8 月 20 日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	23,600	△ 420	△ 500	△ 670
今回修正予想 (B)	24,739	△ 38	△ 71	△ 114
増減額 (B-A)	1,139	382	429	556
増減率 (%)	4.8	-	-	-
ご参考 前期実績 (平成19年8月期)	28,703	△ 1,903	△ 1,863	△ 7,641

(金額の単位：百万円)

2. 当期の中間業績予想（個別）数値の修正（平成 20 年 2 月 21 日～平成 20 年 8 月 20 日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	18,125	△ 473	△ 432	△ 557
今回修正予想 (B)	18,840	24	39	△ 14
増減額 (B-A)	715	497	471	543
増減率 (%)	3.9	-	-	-
ご参考 前期実績 (平成19年8月期)	20,236	△ 1,453	△ 1,371	△ 8,591

(金額の単位：百万円)

3. 当期の通期業績予想（連結）数値の修正（平成20年2月21日～平成21年2月20日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	45,800	400	200	△ 100
今回修正予想（B）	45,400	350	300	300
増減額（B－A）	△ 400	△ 50	100	400
増減率（％）	△ 0.9	△ 12.5	50.0	-
ご参考 前期実績（平成20年2月期）	57,526	△ 2,160	△ 2,120	△ 12,069

（金額の単位：百万円）

4. 当期の通期業績予想（個別）数値の修正（平成20年2月21日～平成21年2月20日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	36,008	302	277	27
今回修正予想（B）	35,419	337	336	145
増減額（B－A）	△ 589	35	59	118
増減率（％）	△ 1.6	11.6	21.3	437.0
ご参考 前期実績（平成20年2月期）	40,536	△ 1,658	△ 1,614	△ 13,034

（金額の単位：百万円）

5. 修正の理由

（中間業績について）

当社は、期のスタートに当たり、業績を回復するために、3カ年の再建計画を策定いたしました。その計画に沿って、構造改革を実施中であり、この中間期までに、さが美においては赤字店の閉鎖、希望退職の実施、賞与・賃金のカット、賃借料等全ての費用の削減に努めるとともに、不動産・有価証券を売却し資金化いたしました。また連結子会社㈱東京和裁を清算し、同じく連結子会社㈱すずきを営業譲渡いたしました。

これらの一連の構造改革に加えて、売上高も計画値に対して上ぶれし、さらに連結子会社㈱東京ますいわ屋・㈱九州さが美も黒字化したことなどにより、連結・個別とも前回発表予想を上回る見込みとなりました。

（通期業績予想について）

今後も引き続き再建計画に沿って、構造改革を実施してまいります。すでに9月16日開示したとおり、ジュエリー事業部の中のキラット事業を11月21日付けで営業譲渡いたします。下半期は不採算部門の整理を進めるとともに、きもの事業を立て直すための商品戦略、マーチャンダイジング改革に着手いたします。

下半期におきましても、売上高の予想は厳しく見積もっておりますが、構造改革の深耕によって経営コストの削減が見込まれることから、連結・個別とも経常利益・当期純利益におきましては、前回発表予想を上回るものと予想しております。

6. 特別利益の発生について

当中間期において、新たに以下の通り特別利益を計上しております。

(単体)

関係会社清算益 100 百万円

連結子会社(株)東京和裁の清算にともない発生いたしました。

7. 特別損失の発生について

当中間期において、新たに以下の通り特別損失を計上しております。

(連結)

減損損失 98 百万円

貸倒引当金繰入額 59 百万円

減損損失は、主に店舗ならびにソフトウェアに対して計上しております。

貸倒引当金繰入額は、主に退店店舗の保証金に対して計上しております。

(個別)

減損損失 94 百万円

減損損失は、主に店舗ならびにソフトウェアに対して計上しております。